



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94. 1. 10 No. 3925

合理化年度の無視安全

運転関係に攻撃集中!

検修・構内業務の大合理化攻撃が始まろうとしている!

一月二二日、千葉支社は「年度末諸施策」と称して、幕張電車区と習志野電車区の構内業務の合理化提案を行なった。内容は、幕張電車区が、パンすり板の自動計測装置導入に伴う構内作業の見直しであり、習志野電車区は、電子連動化に伴う誘導係の全廃である。

またこれとは別に、JR東日本本社は、構内作業の全面的な外注化提案を行なっており、今後この攻撃も各地方で具体化されようとしている。JR当局は、検修・構内関係職場を解体してしまいうに等しい大合理化攻撃に本格的に手をつけようとしているのである。

パンすり板自動計測装置導入を理由に要員削減!(幕張電車区)

幕張電車区関係の提案では、仕業検査が「三徹減・二日勤増で▲六名」、外勤が「一徹減・一日勤増で▲一名」となっている。しかし、パンすり板の自動計測装置が導入されたとしても、到底これほどの業務量が減るとは考えられない。特に外勤は、

パンすり板の自動計測装置導入とは全く関連性のない業務であり、純粹の要員削減合理化である。

また、仕業検査にしても、当局は、「自動計測装置によって、仕業検査時にパンの検査を行なう必要がなくなり、仕業検査時間も十分短縮される」としているが、磨耗による交換の発生数は変わる訳ではない。交換作業は誰が行なうのかも明らかにされていないが、モニタ

ーは仕業検査詰所に置かれることになっており、結局は仕業検査が行なうことになる可能性が高い。結局は、さして業務両方が減少する訳ではなく、ほとんどが純粹な要員削減・労働強化要素であると考えられる。

また、仕業で三徹、外勤で一徹減となれば、夜間の異常時対応、臨時業務対応など全くできなくなってしまうということだ。

構内の電子連動化で誘導係全廃(習志野電車区)

習志野電車区の電子連動化は、国鉄時代から、何度も検討がされながら、構内が非常に狭いことなど、安全面の問題から、結局その度に計画が見送られてきた事案であった。そもそも危険極まりない計画なのである。

JRは、何が何でも人減らしをせよ、という至上命令だけでこの間の経緯を全て無視し、連動化にふみ切ったのだ。しかも、今回計画では、保安設備は、ATS-IPもSNも一切設置されないというのだ。まさに、安全を一切無視した無謀な計画であると言わざるを得ない。しかも、信号扱いは津田沼駅で行なわれることになっており、電車区と駅側との連絡に少しでもゆき違いが起これば即事故につながるかねないことになる。

この連動化によって、誘導係全廃(▲十三名)の提案が行なわれているが、検査線には入信が設置されないことからして、検査線での誘導業務は、仕業検査等の労働強化になる。更には、冬の凍結防止対策も今までは、誘導係が行なっていた業務であり、これも他職種の労働強化となつてのしかかる。

そればかりではない。習志野電車区でも、パンすり板の自動計測装置の工事が三月末には完成する予定となっており、その時点で、また新たな要員削減提案が行なわれる可能性が高い。

外勤は、すでに十二月ダイヤ改で一徹減らされており、現在でも異常時対応が全くできない状態となつてしまっているのだ。まさに、危険かつ無謀な合理化攻撃なのである。

構内・検修職場を解体する大合理化を許すな! 全力で年度末合理化攻撃粉砕に向け起ちあがろう!

1994 団結旗開きに集ろう!

1月13日(木) 13時より

千葉県労働者福祉センター 3階

とき
ところ

訂正
「日刊労働千葉」一九九四年一月七日付けNo.三九二三にはNo.三九二四の間違いでした。訂正します。